



スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2019年 冬号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245

E-mail:sato@sendai-komei.jp URL <http://www.sato-kazuko.net>

一人の声を大切に!

100万人の笑顔のために!

あなたの未来に笑顔と元気を!

8月に行われました仙台市議会議員選挙において、市民の皆様からご支援を賜り3期目に当選をさせていただきました。心より感謝申し上げます。

この度、改選後に行われた令和元年第3回定例会での議会質問や議員活動のご報告として、第30号となる「さとう和子スマイル通信 冬号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。心新たに「現場第一」「当事者のお声」に耳を傾け、よりよい市政を目指して全力で働いてまいります。

2019年12月吉日 仙台市議会議員 さとう和子



◇◇◇ 皆さまの声をカタチにしました! ◇◇◇

聴覚障がいの陸上選手が使用する「スタートランプ」が全国で初めて導入されました!

9月17日、仙台市陸上競技場に待望の「スタートランプ」が3レーン分3台が導入されました。自治体による導入は全国初となります。

今年4月、関係者の方々から、健常者との競技に公平な環境整備を求める熱意と切実なご要望が寄せられ、聴覚障がいの陸上選手にとってピストルの音が聞こえないため、スタートに出遅れ、本来の力が発揮できない実情を



はじめて知りました。「スタートランプ」の設置は、合理的配慮として当たり前のこと、選手の活躍を通し早急な対応を求めておりました。今年、宮城県立聴覚支援学校中学部陸上部は、懸命な努力が実り市中総体・東北大会・新人大会において、かつてない好成績を収めました。

*スタートランプ:聴覚障がいの陸上選手がスタートする時に、足元に置き「位置について」が赤、「よーい」が黄色、「ドン」が白に点滅し合図を送るもの。



8月3日、東北大会に向け練習に励んでいる宮城県立聴覚支援学校陸上部を訪問。



10月18日、公明党仙台市議団は、郡市長に被災状況の早急な全容掌握と復旧・復興に全力で取り組むことを求め「台風19号被害対応に関する」緊急要望書を提出しました。



5月29日、公明党仙台市議団は、郡市長に「保育所・児童館周辺等の交通事故防護対策に関する」緊急要望書を提出。同日、「食品ロス削減推進法」成立を受け「市民運動」として推進するよう「食品ロス削減と生活困窮者支援に関する」要望書を提出しました。



(令和元年10月1日)



○産後ケアの拡充について

- ・助産師・産後ドゥーラを活用した訪問型の導入
- ・産後ケア事業の利用要件の緩和と利用料の見直し
- ・宮城県内の産後ケア事業者との広域連携

*産後ケア事業:出産後の母親が安心して子育てができるように宿泊型・デイサービス型によるサポート事業。仙台市は平成31年1月から医療機関・助産院14か所で開催している。

*産後ドゥーラ:産後間もない母親に寄り添って家事や育児など生活に必要な支援をする人のこと。民間の認定資格で首都圏を中心に全国に広がっている。



○選挙における代理投票の改善と病院投票の指導徹底

○秋保ビジターセンターのトイレの改善及び合併処理浄化槽じょうかそうの整備

○「スタートランプ」の貸出の拡大と使用説明会の開催

質問: 選手にとって十分に力を発揮するために、大会に向けての仙台市陸上競技場もしくは学校等での練習についても借用できるようにしていただきたい。

答弁: 市陸上競技場や学校等での練習に対する貸し出しや、利用促進のための説明会についても、今後、実施する方向で検討してまいりたい。

◆◆決算・一般会計補正予算等審査特別委員会◆◆

(令和元年10月10日)

○通級指導教室つうきゅうの拡充・巡回型かくじゅう じゆんかいの本格導入

質問: 授業が難しくなる中学校の通級指導教室を強化すべき。

答弁: 巡回指導の実施や教室の増設も含め、中学校での通級指導の充実に努めてまいりたい。

○子どもへの暴力防止プログラム「CAP」を活用した人権教育

○外部講師を活用したがん教育



第3回定例会 委員長報告

お知らせ

健康福祉委員会 委員長
交通政策調査特別委員会 副委員長
仙台市総合計画審議会 委員
仙台市宅地保全審議会 委員
仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 委員